

福岡県食料・農業・農村の動向

— 平成24年度 農業白書 —

福 岡 県

福岡県食料・農業・農村の動向

— 平成24年度 農業白書 —

福 岡 県

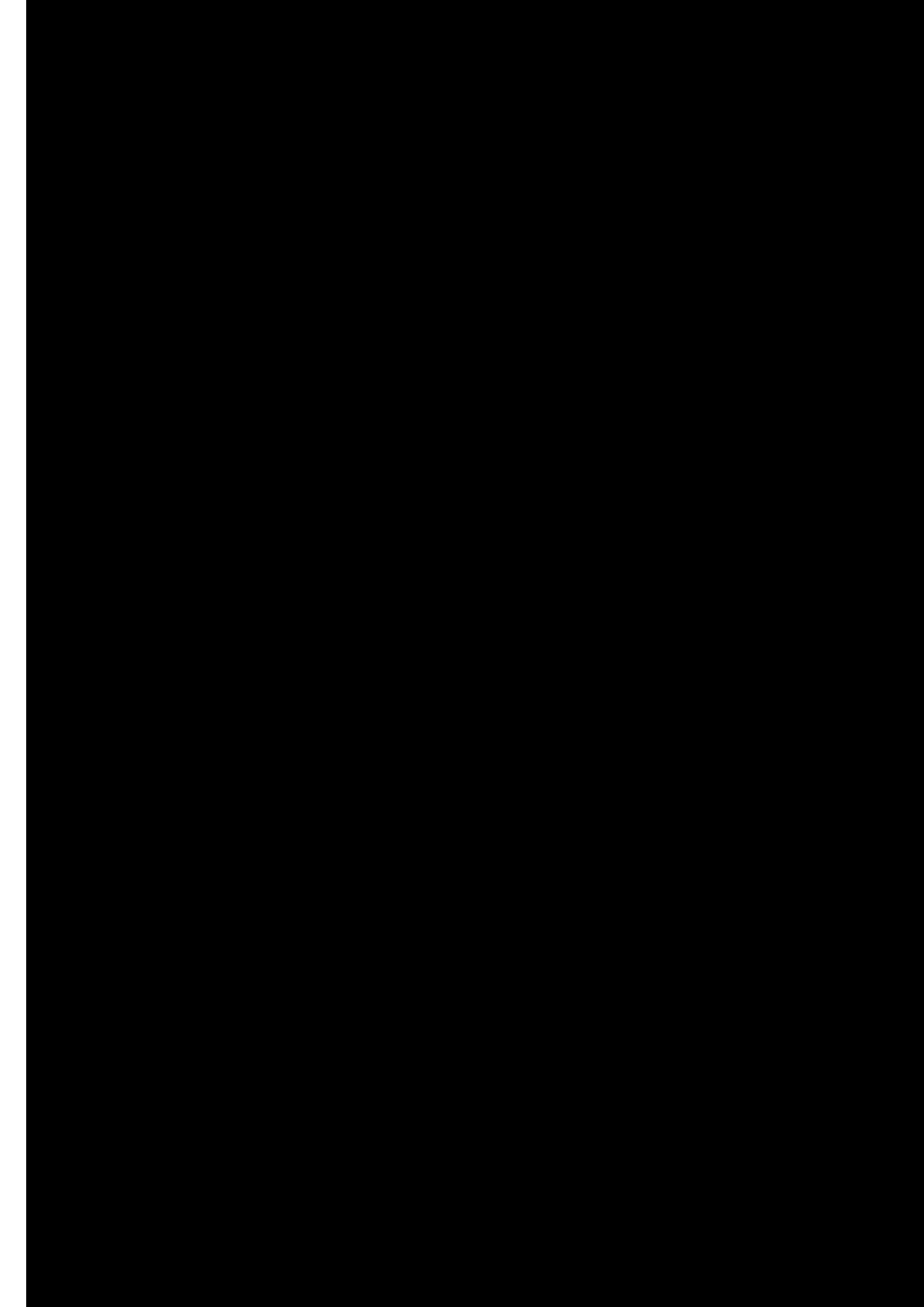


第3章 主要品目などの動向

1 水田農業

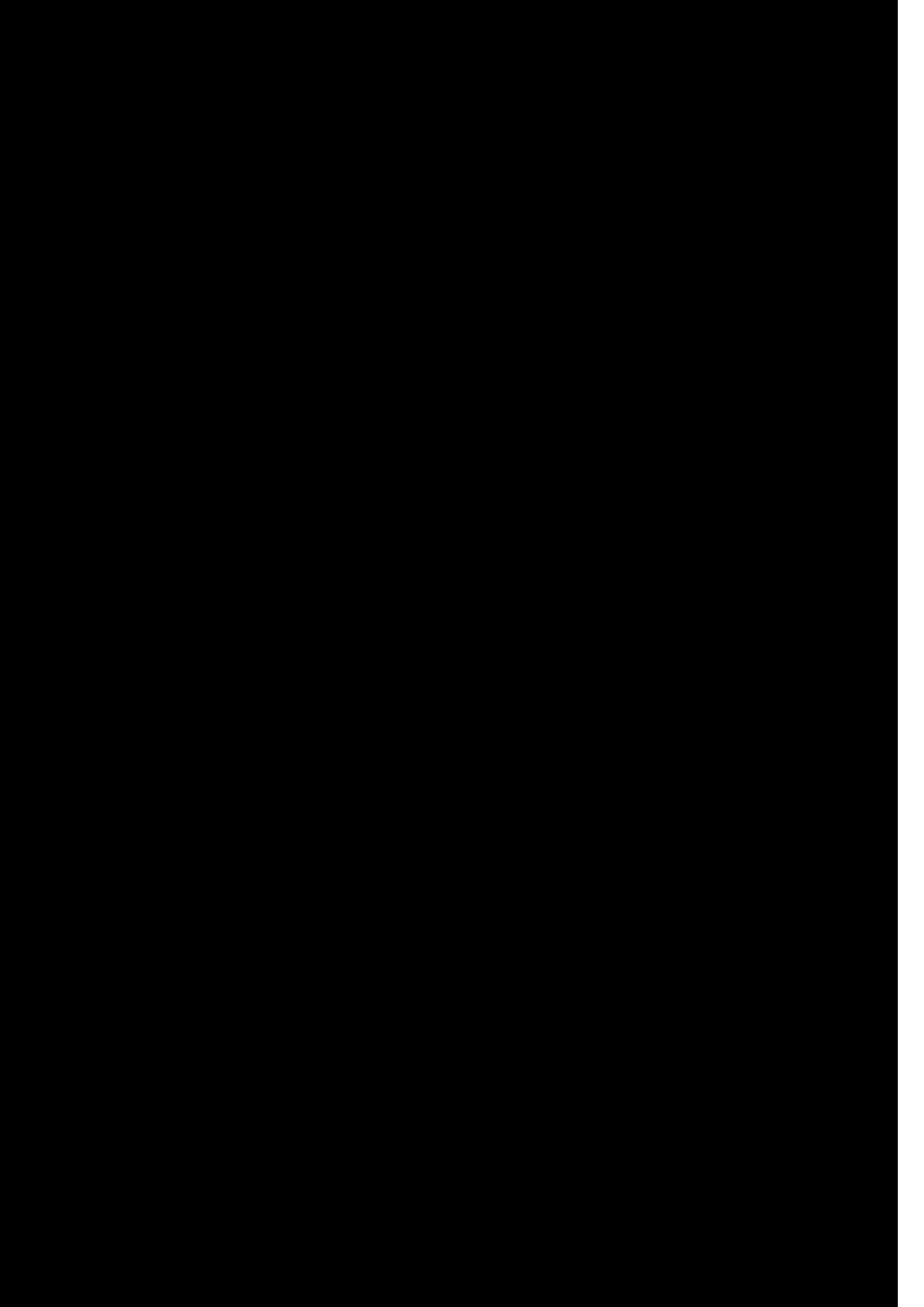
(1) 米	39
(2) 麦、大豆	40
(3) 生産体制	

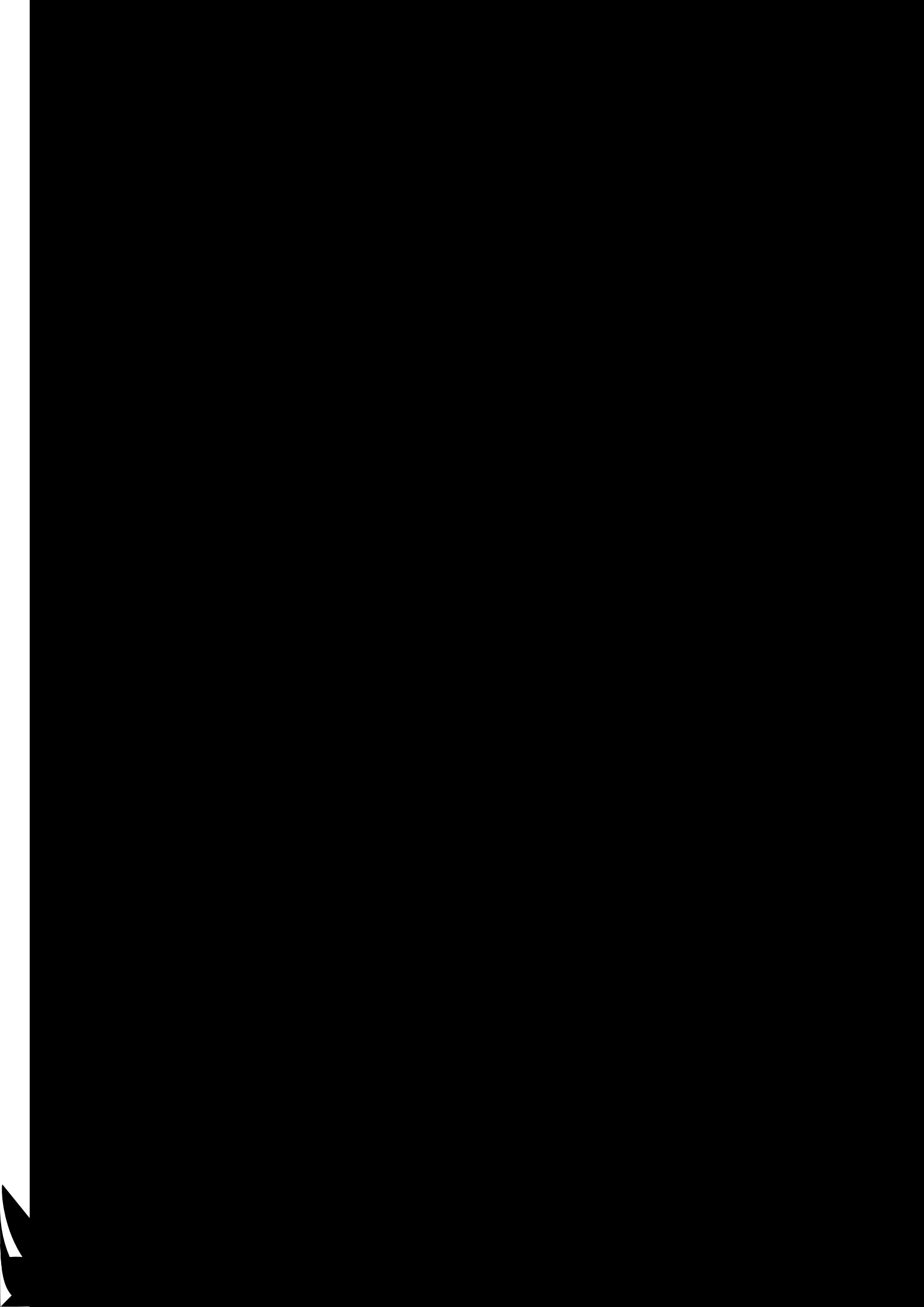




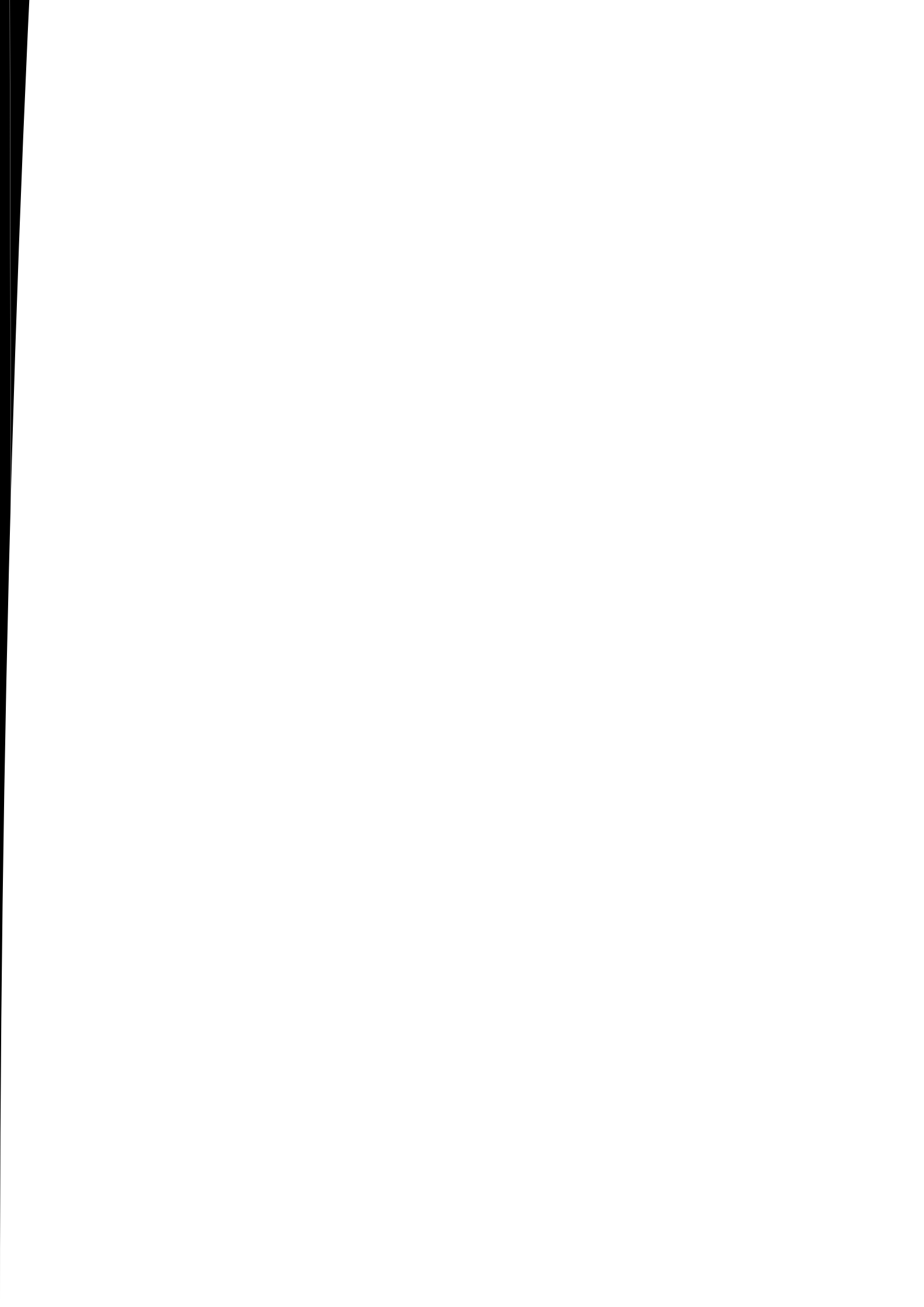
第1章 福岡県農業の動き

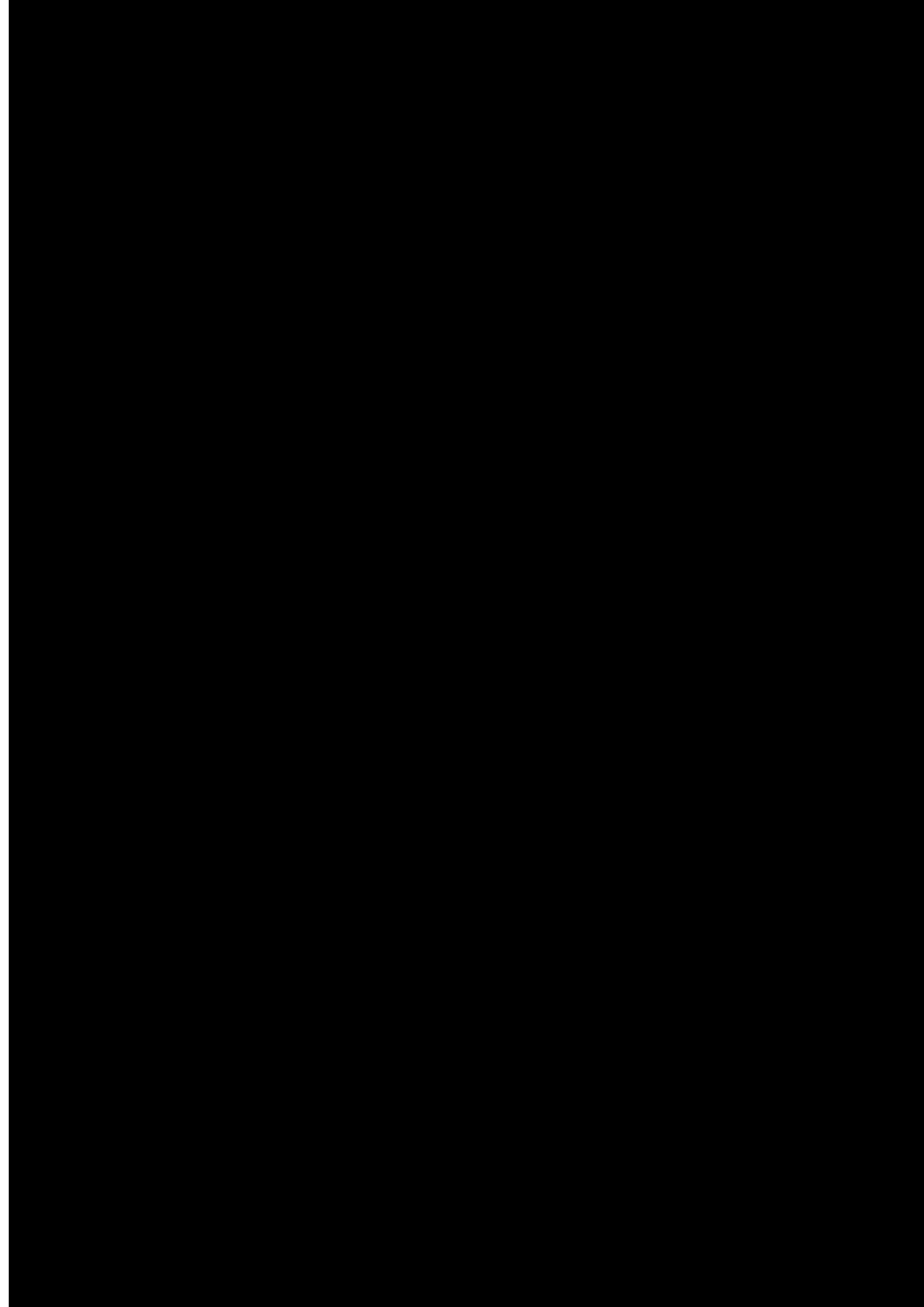
1 米の収穫量は前











(4) 消費者の認知度向上対策は対象を明確化

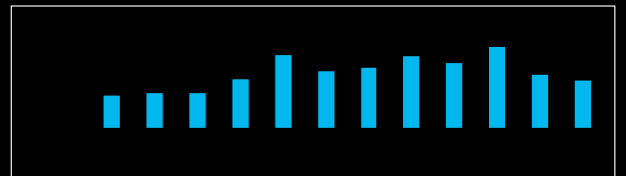
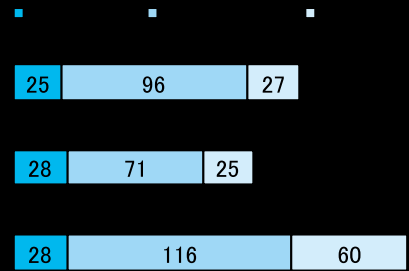
(販売開始から10周年、「あまおう祭り」を盛大に開催)

- ・平成25年2月23日から3月末まで、JR博多シティをメイン会場に福岡空港、天神などで「あまおう祭り」を開催しました。
- ・平成24年度は「あまおう」の販売開始から10周年の記念の年であり、誕生からの歴史や「あまおう」を使ったデザートやジャムなどの加工品、化粧品といった様々な商品を紹介しました。
- ・今後も、「あまおう」のブランド力を強化するため、青果物だけでなく、加工品も絡めた取組を展開します。

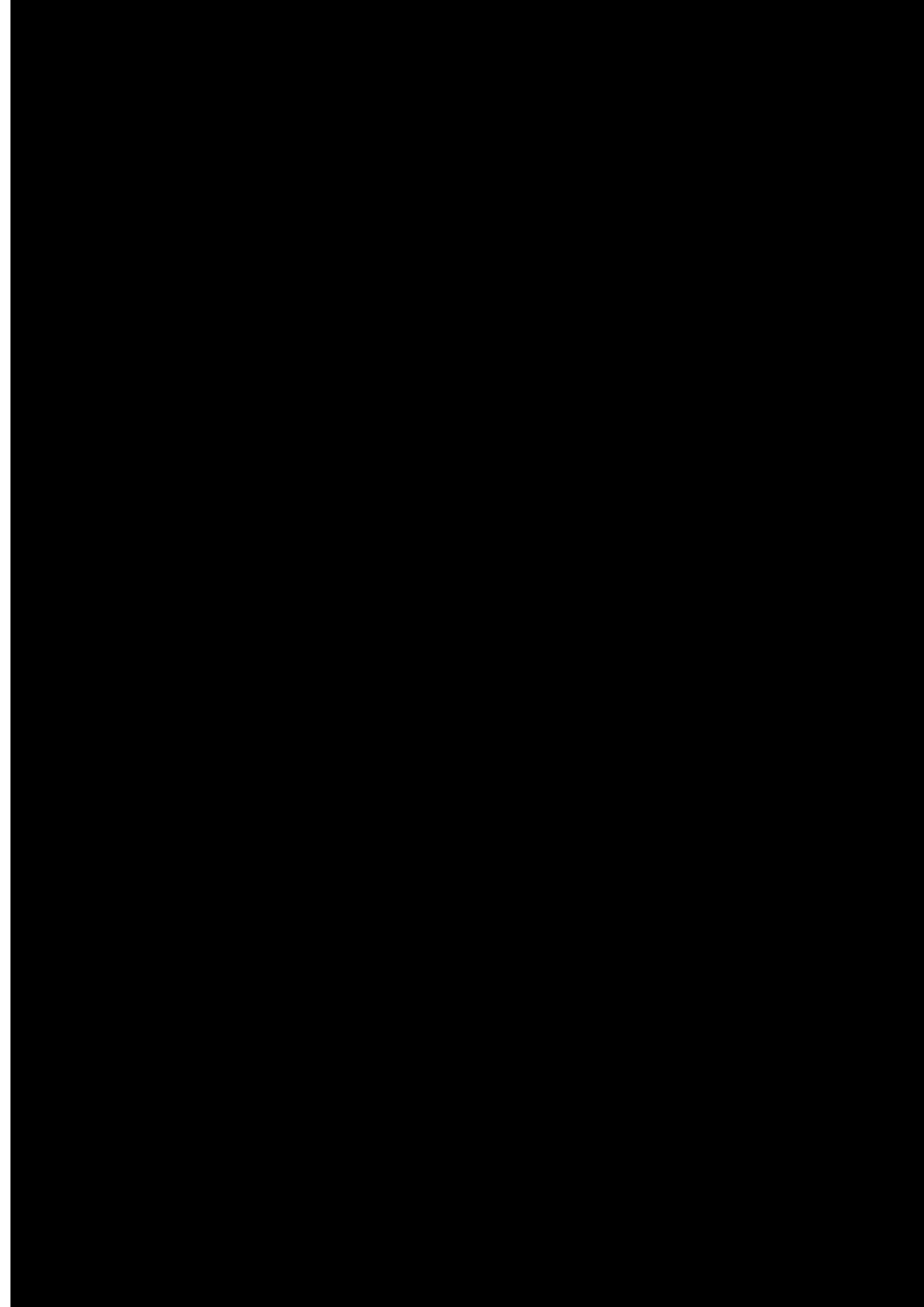
(大相撲ファンに県産農林水産物をPR)

(2) 消費者へ

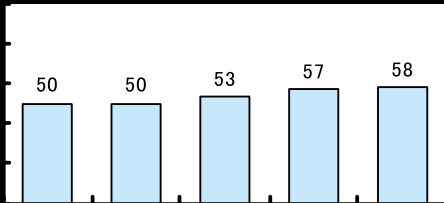
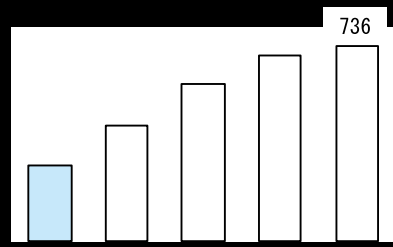




平成 24 年度 県 HP へのアクセス件数
資料：後継人材育成室調べ

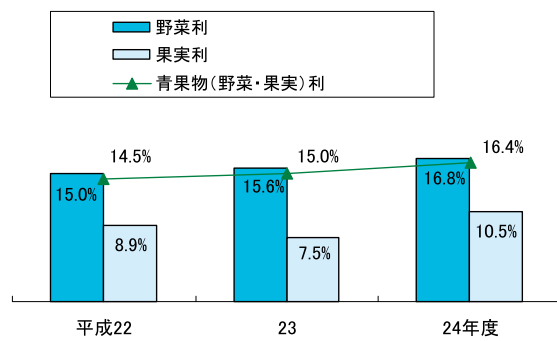


(3) 園芸農業での雇用労働の導入
(雇用型経営体^{*}は、前年に比べ、5



□ 都市の地域
■ 農村地域

(学校給食への地元産青果物^{※1}の利用は16.4%)



(生物検定の活用で良質たい肥の利用を拡大)

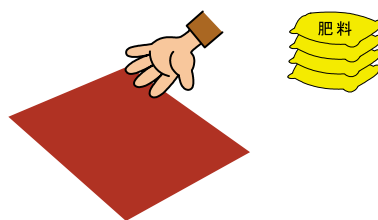
- ・家畜排せつ物から堆肥を生産し、活用することは、環境に配慮した農業を推進する上で重要です。
- ・堆肥の品質に問題があった場合は、作物に悪影響を及ぼします。このため、堆肥を販売している堆肥センターなどでは、製造者として堆肥の品質を把握する必要があります。
- ・県では、高度な分析機器がない現場でも実施できる堆肥の生物検定*について、指導機関や堆肥センターの担当者を対象に検定の方法や手順等に関する講習会を初めて開催しました。

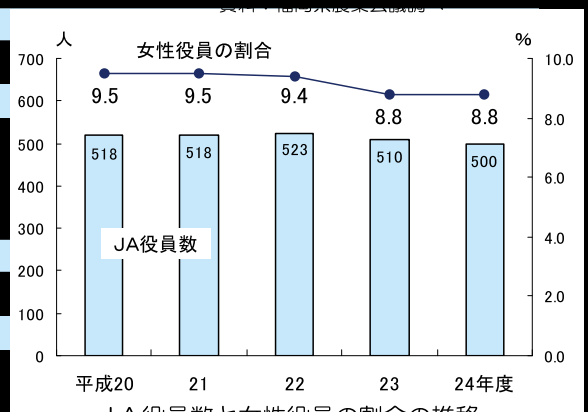
サヤエンドウを用いた講習会

※ 堆肥の生物検定：堆肥を混合した土でサヤエンドウ等を栽培し、その生育状況により堆肥の品質を総合的に評価する方法。

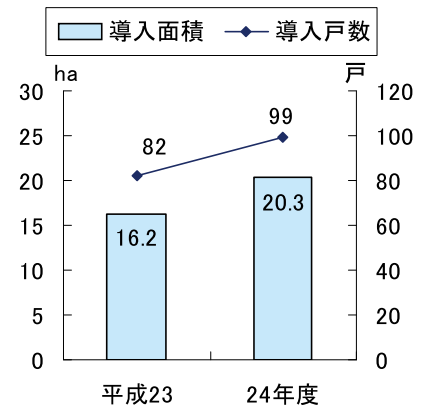
(適正施肥設計プログラムを新たに開発)

- ・県では、土壌中の残存肥料分を考慮した上で適正な施肥量が判断できる「福岡県適正施肥設計プログラム」を開発しました。
- ・本プログラムは、品目追加を簡単に行うことができ、県農業総合試験場のホームページから誰でもダウンロードできます。また、17JAが利用する「JA全農ふくれん土壌診断センター」にも導入されています。
- ・今後、土壌の定期的な健康診断として本プログラムの活用を農業者に周知し、作物の生育に応じた適切で無駄のない施肥管理を促進していきます。









ヒートポンプの導入面積と導入戸数
資料：園芸振興課調べ

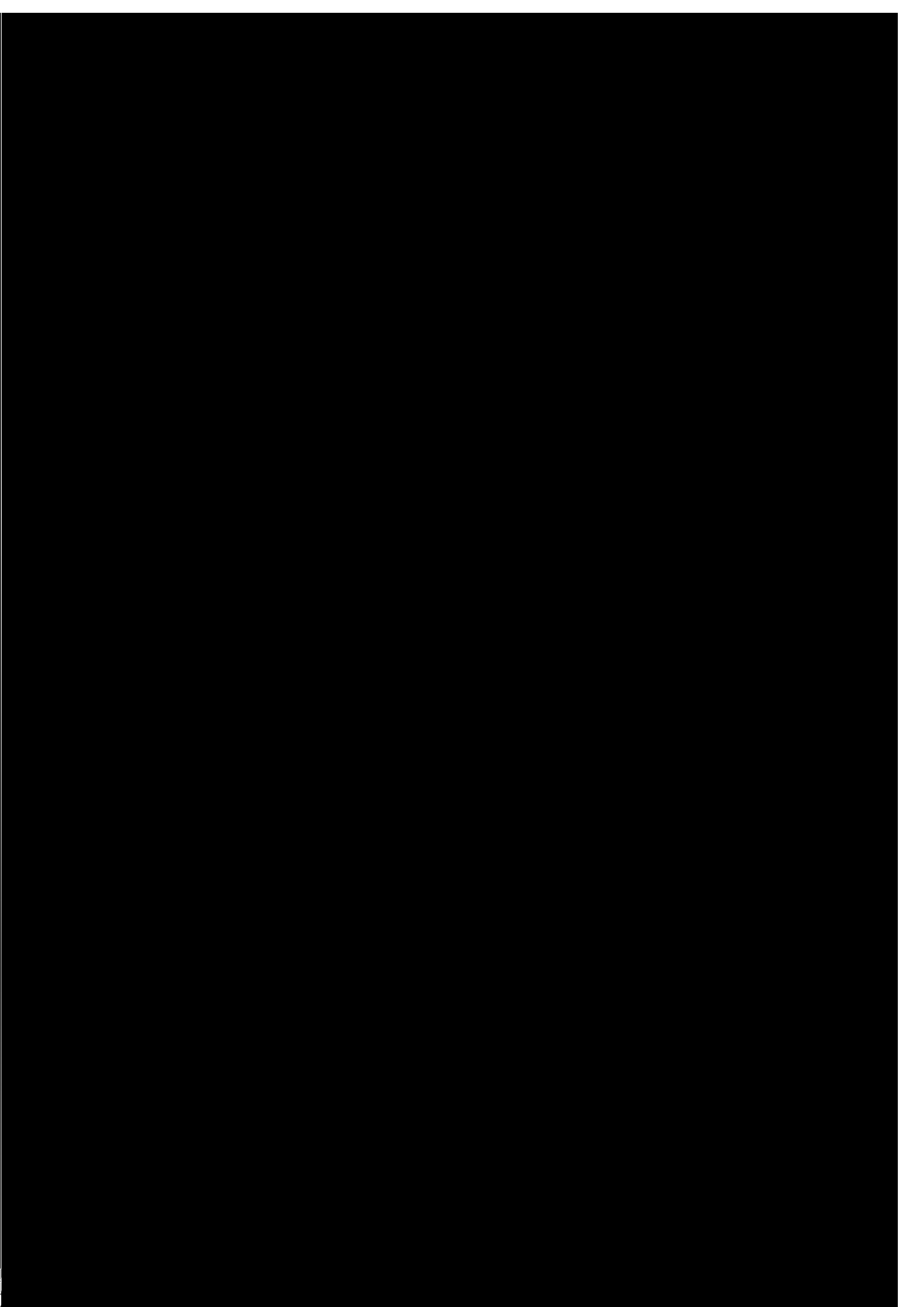
省エネ型換気扇を設置した牛舎

小水力発電の設置状況

○小水力発電の導入イメージ

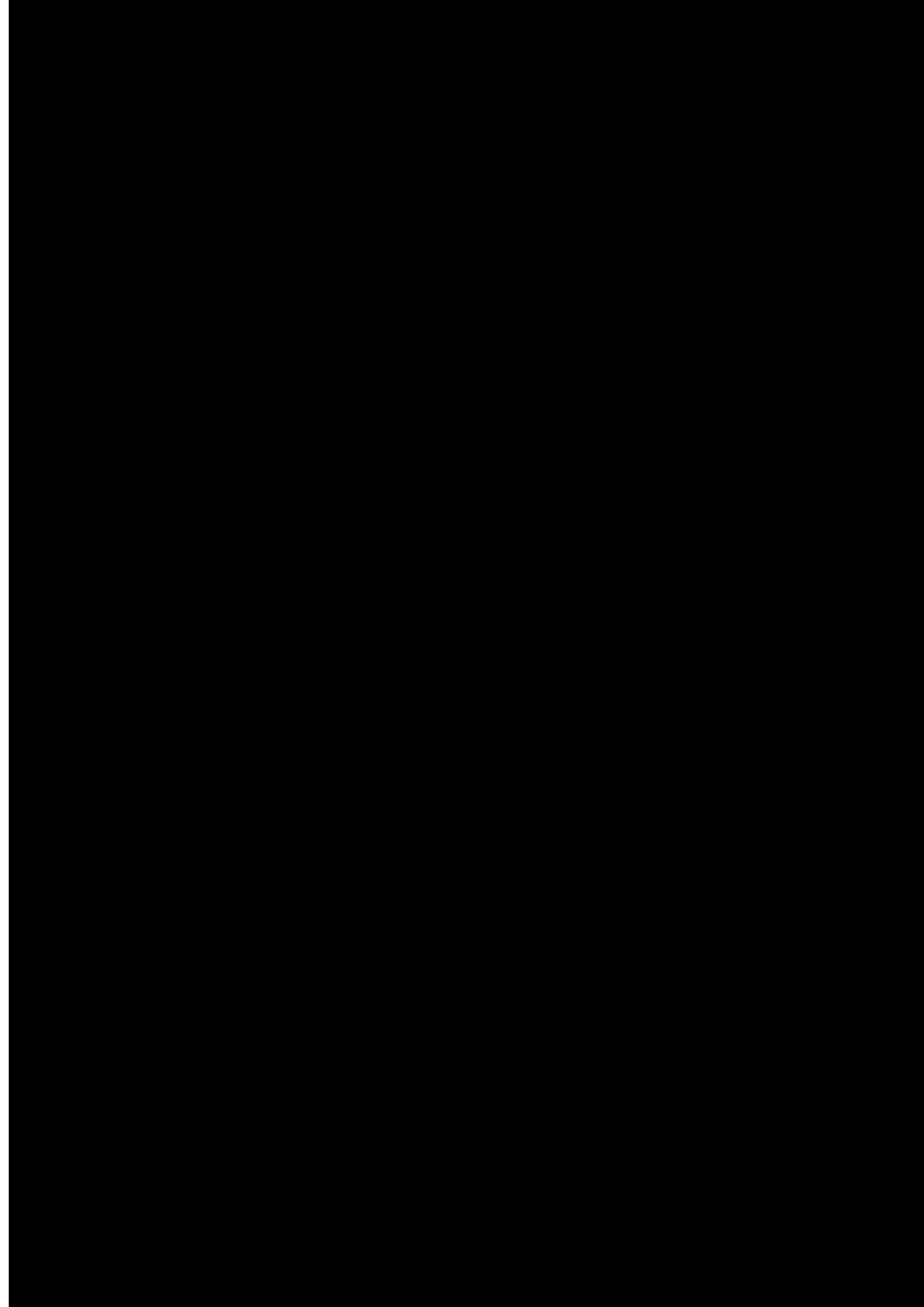
- ・農業用水路等を利用した高効率な発電設備です。これを導入することにより、電気柵等へ電力供給が可能となります。

高効率な発電が可能な小水力発電設備









(2) 果樹

(消費



主な出荷市場における
出荷数量割合（単位：千本）

項目	割合
「雪姫」単価（円/本）	74
従来品種単価（円/本）	62
「雪姫」割合（%）	9

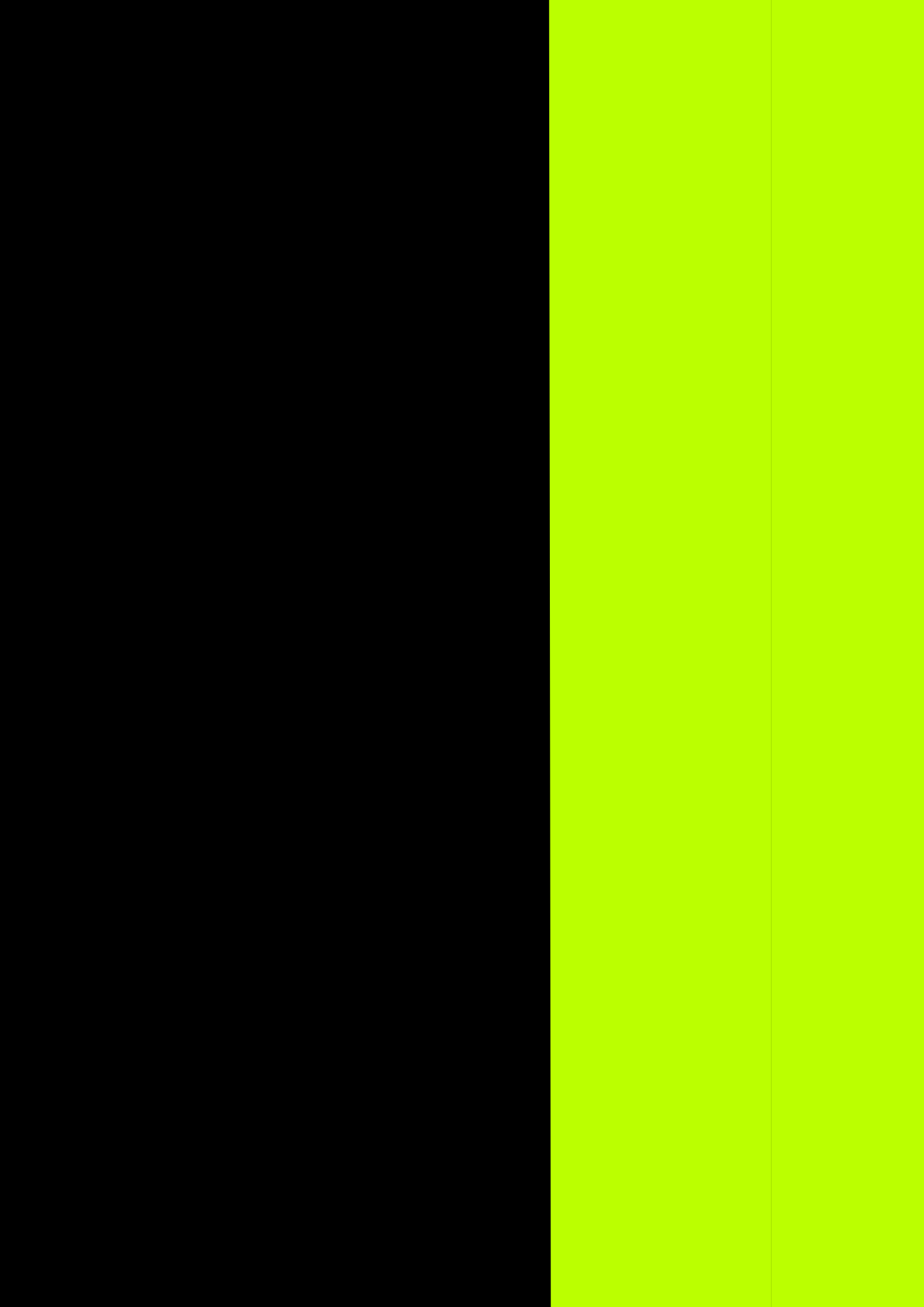
栽培が進む

「雪姫」の販売量*は、前年比で19千本増加。販売額は、前年比で6億円増加。

・病害虫の被害が例年より少なかったことと、春先の生育ができたことと、春先の生育がよるもの。

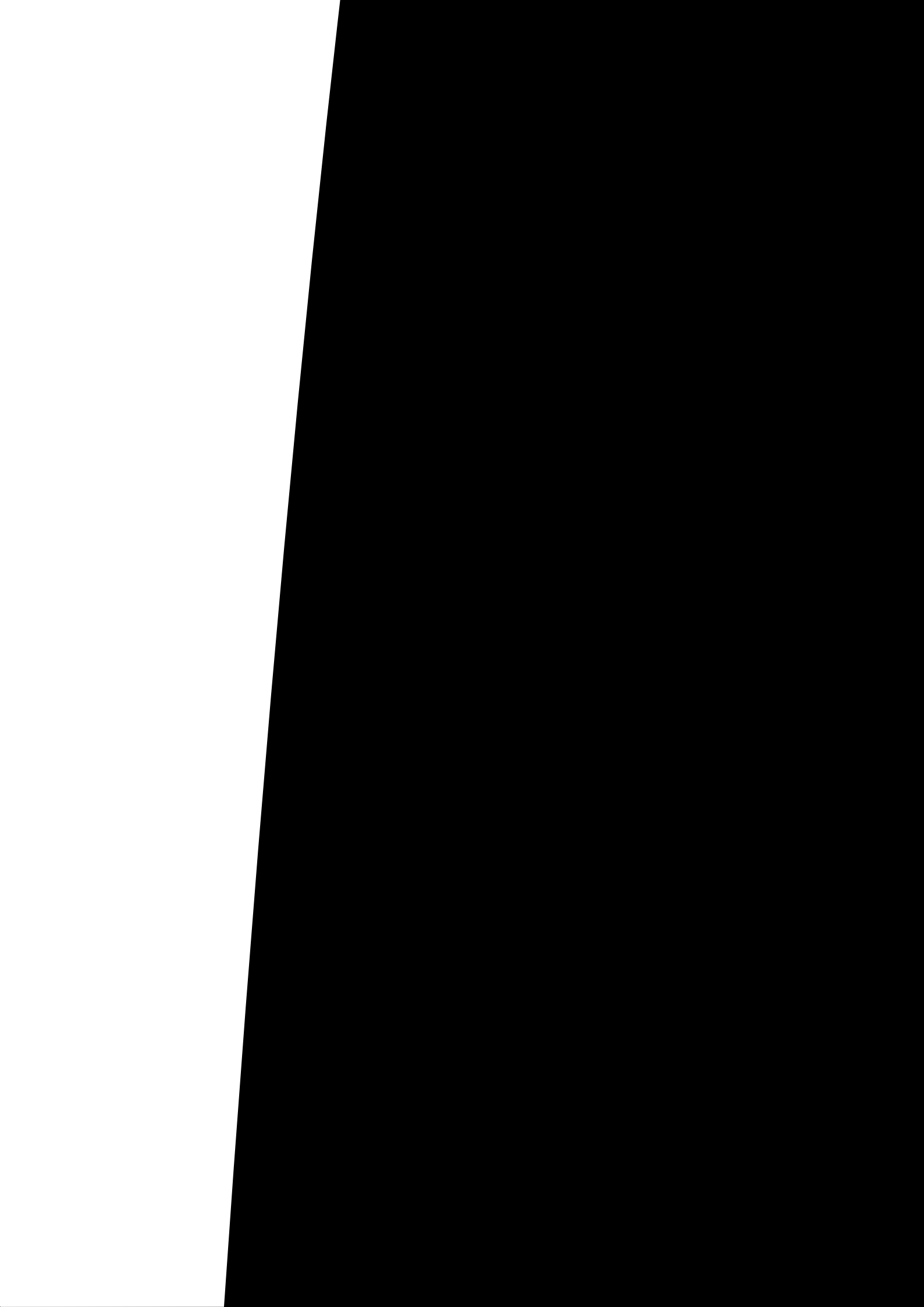
・促進するため、冬春の生育を推進。電照導入による生育促進が、ha増加。

Aを通じて販売さ



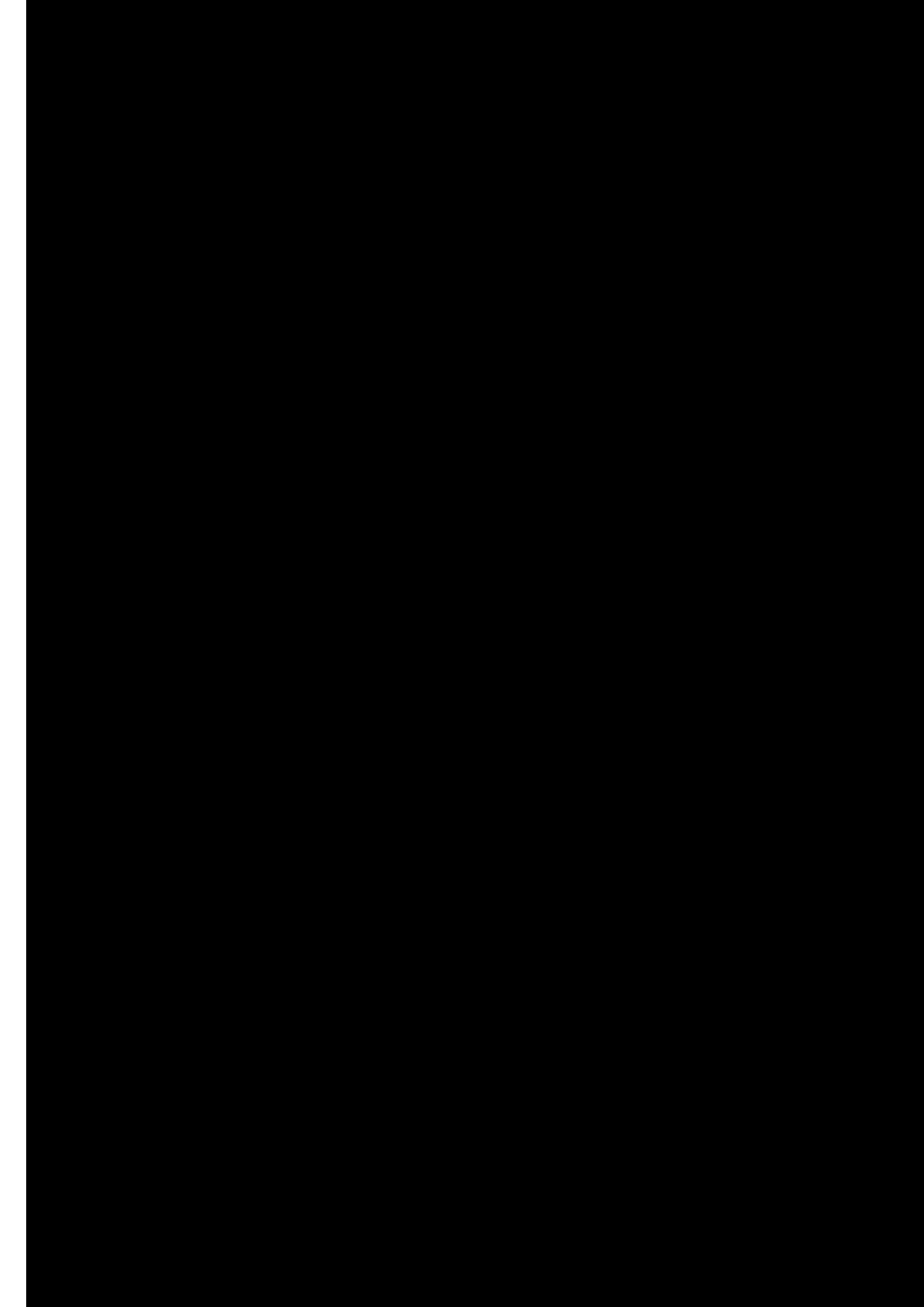








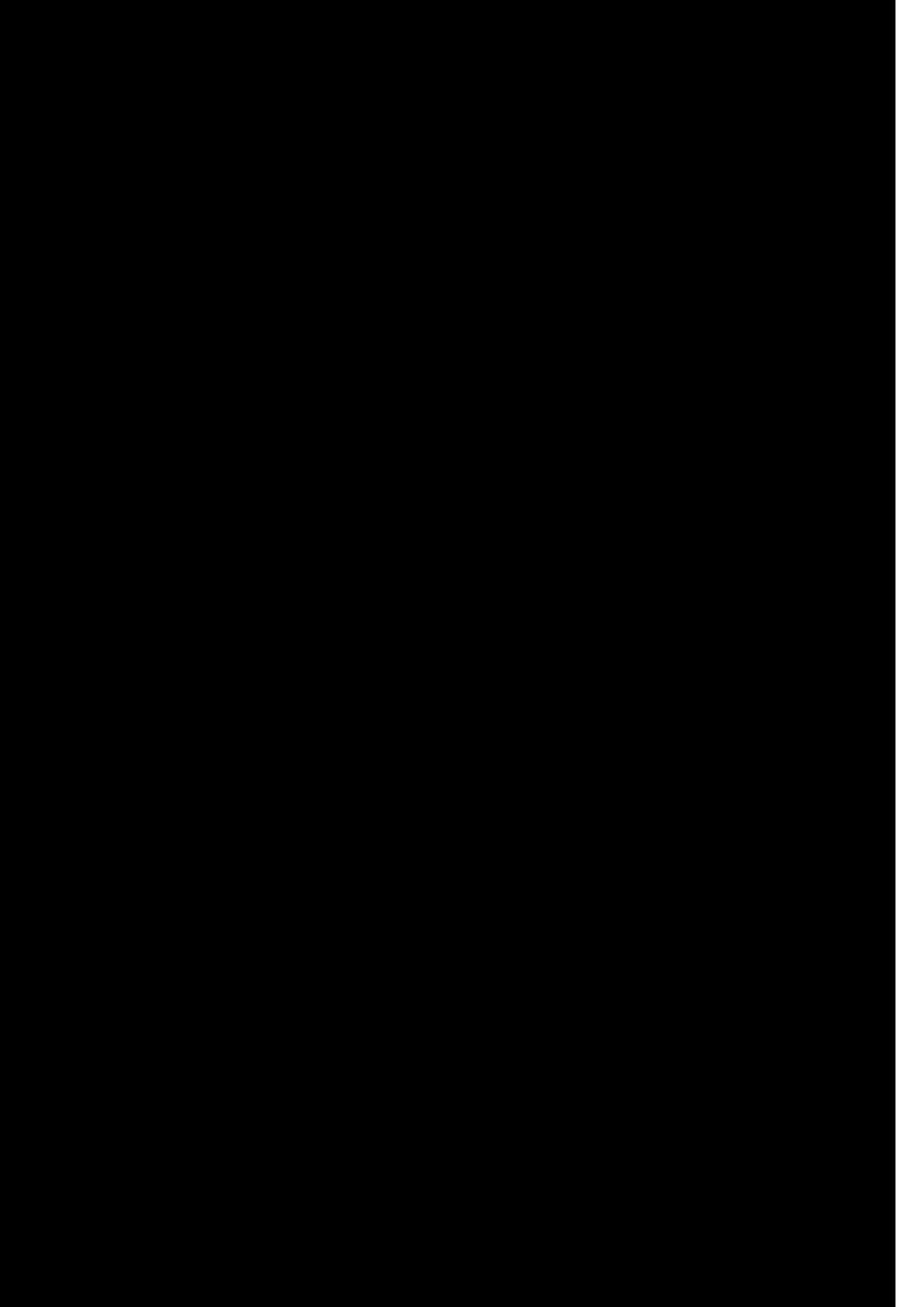
付属統計・資料







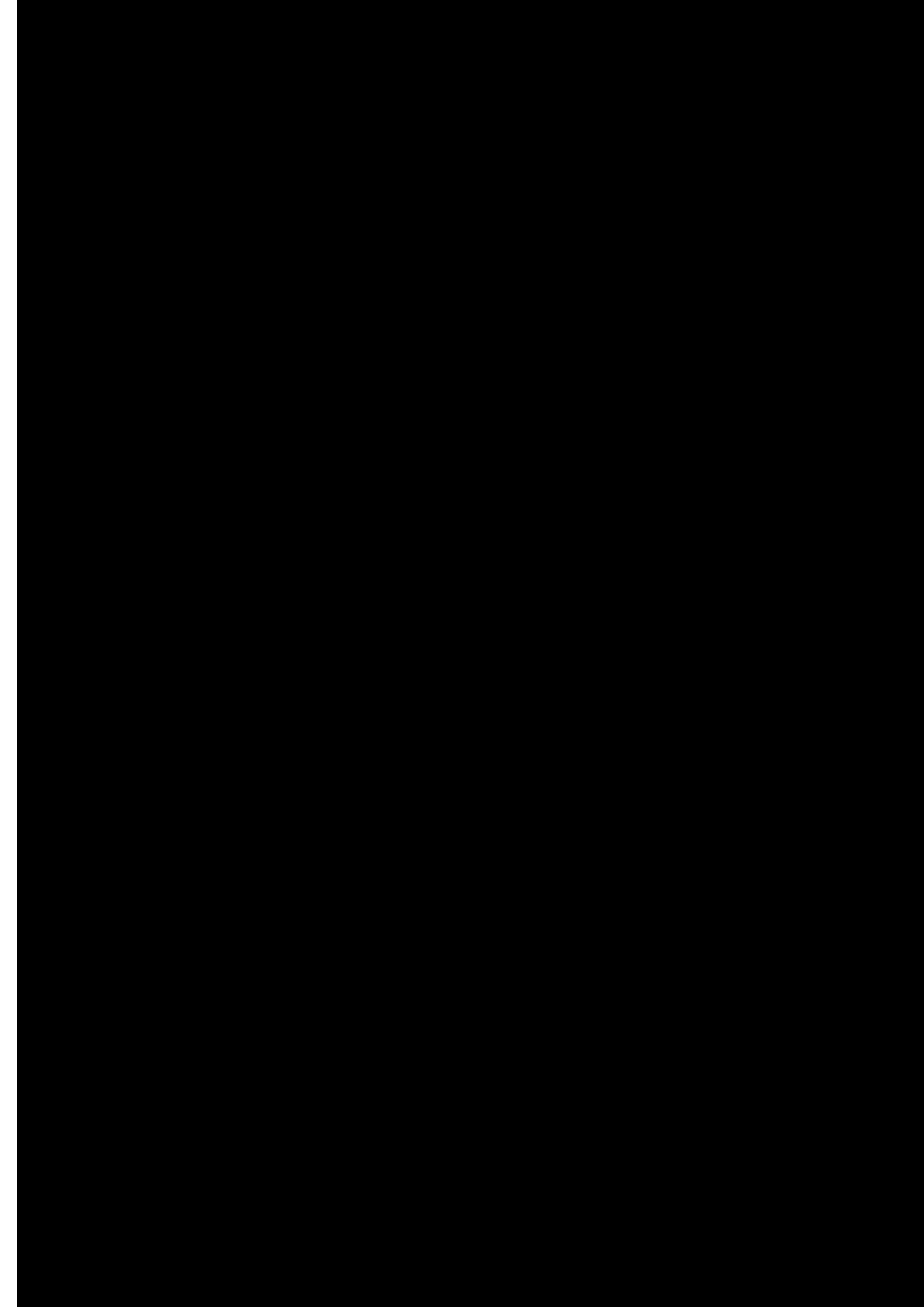


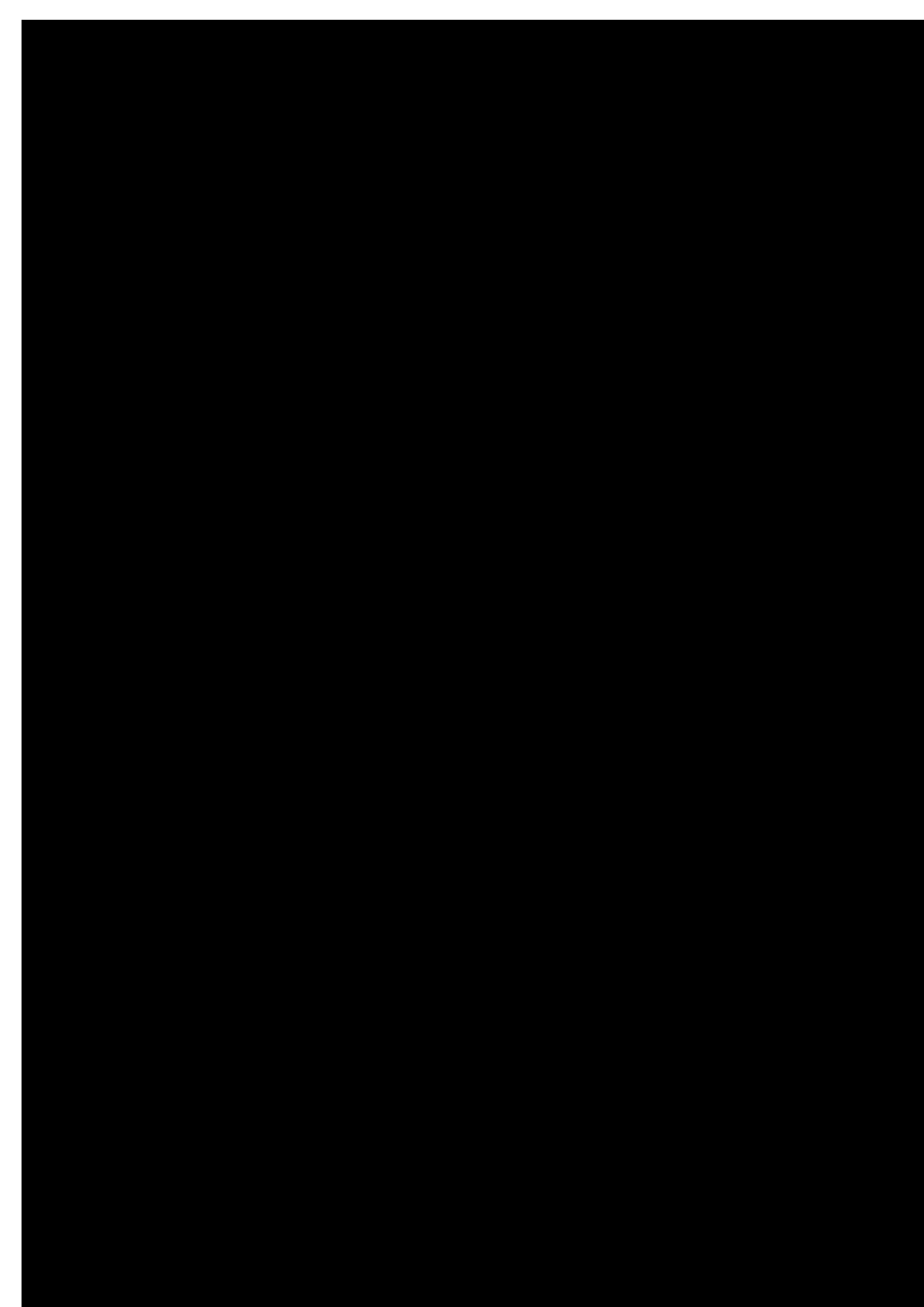






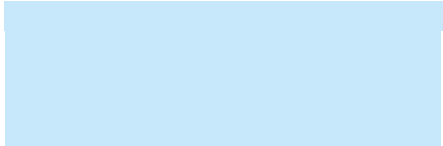
--	--	--	--	--	--







採卵鶏の飼養戸数等の推移

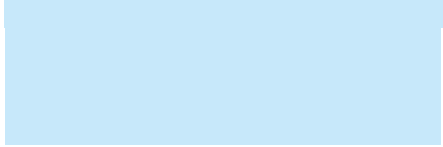


平
6

4年
104
999
168

資料：

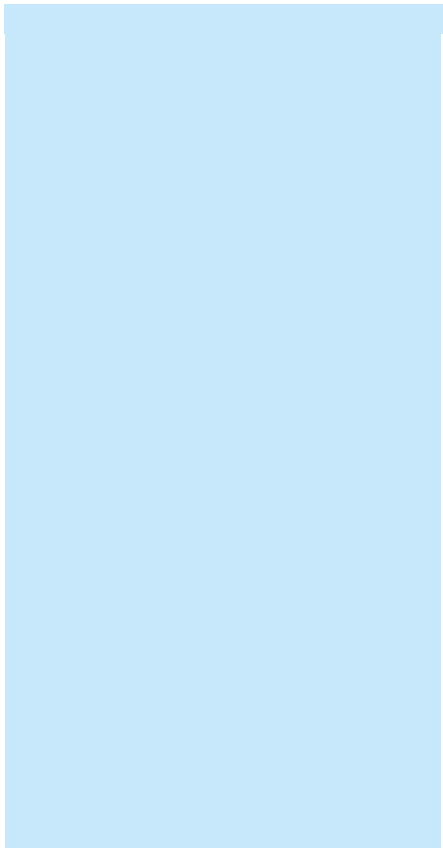
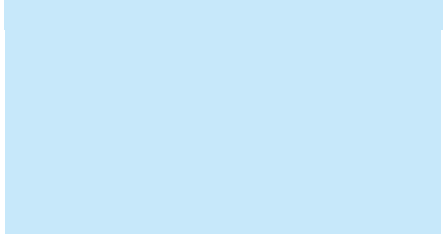
肉用鶏の飼養戸数等の推移



平

9
5

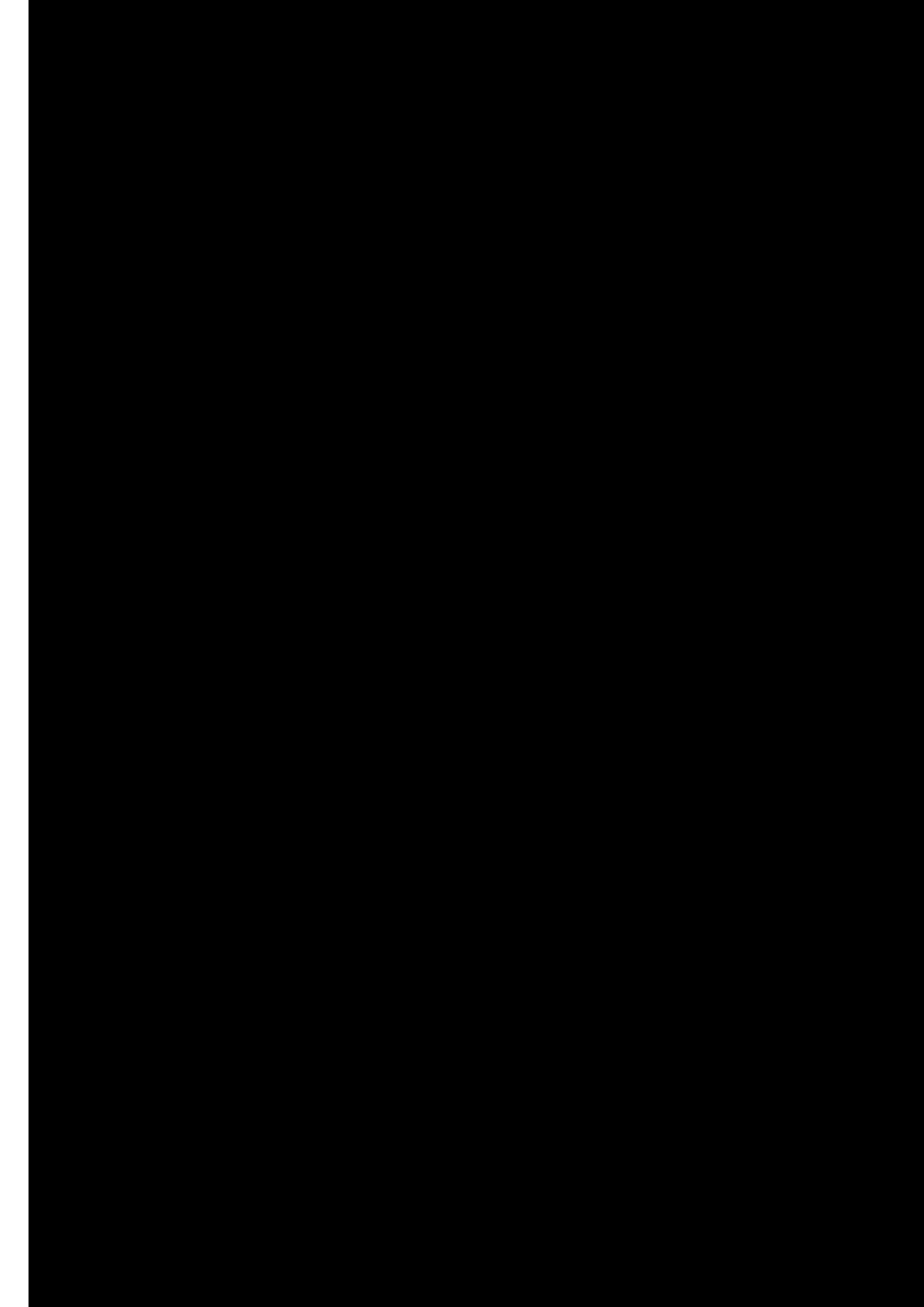
畜産・家畜衛生 畜産環境汚染問題(苦情)の



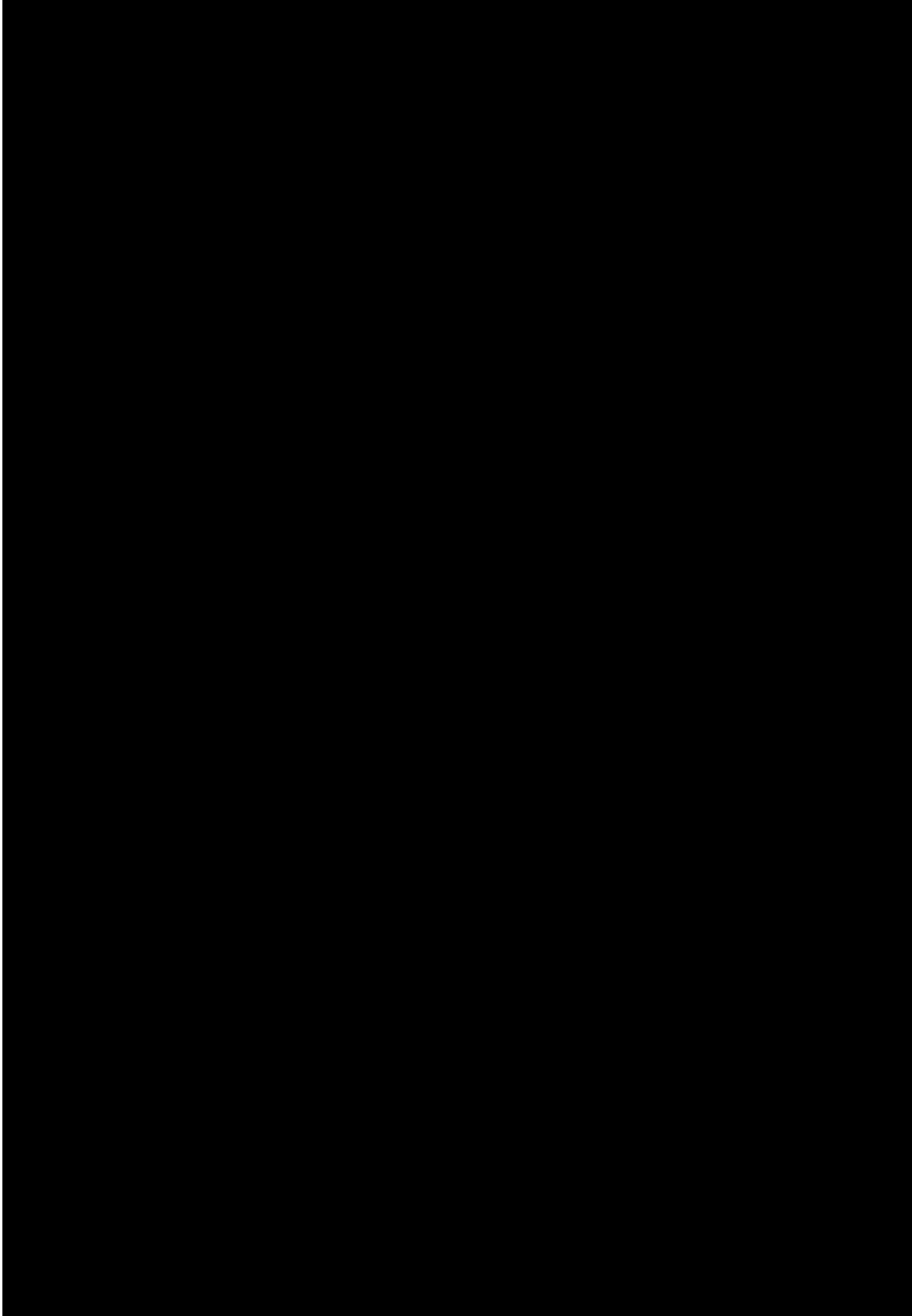




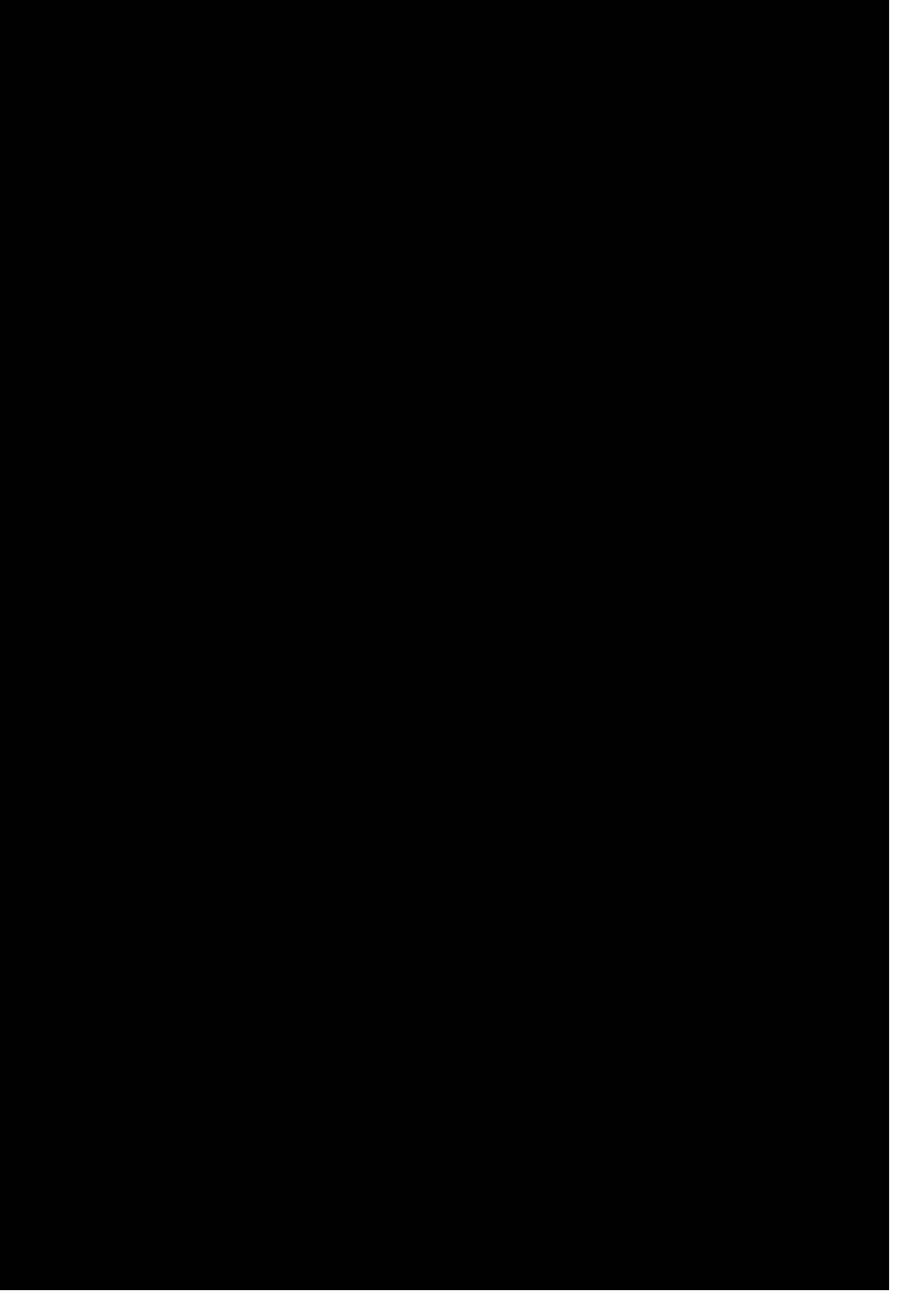


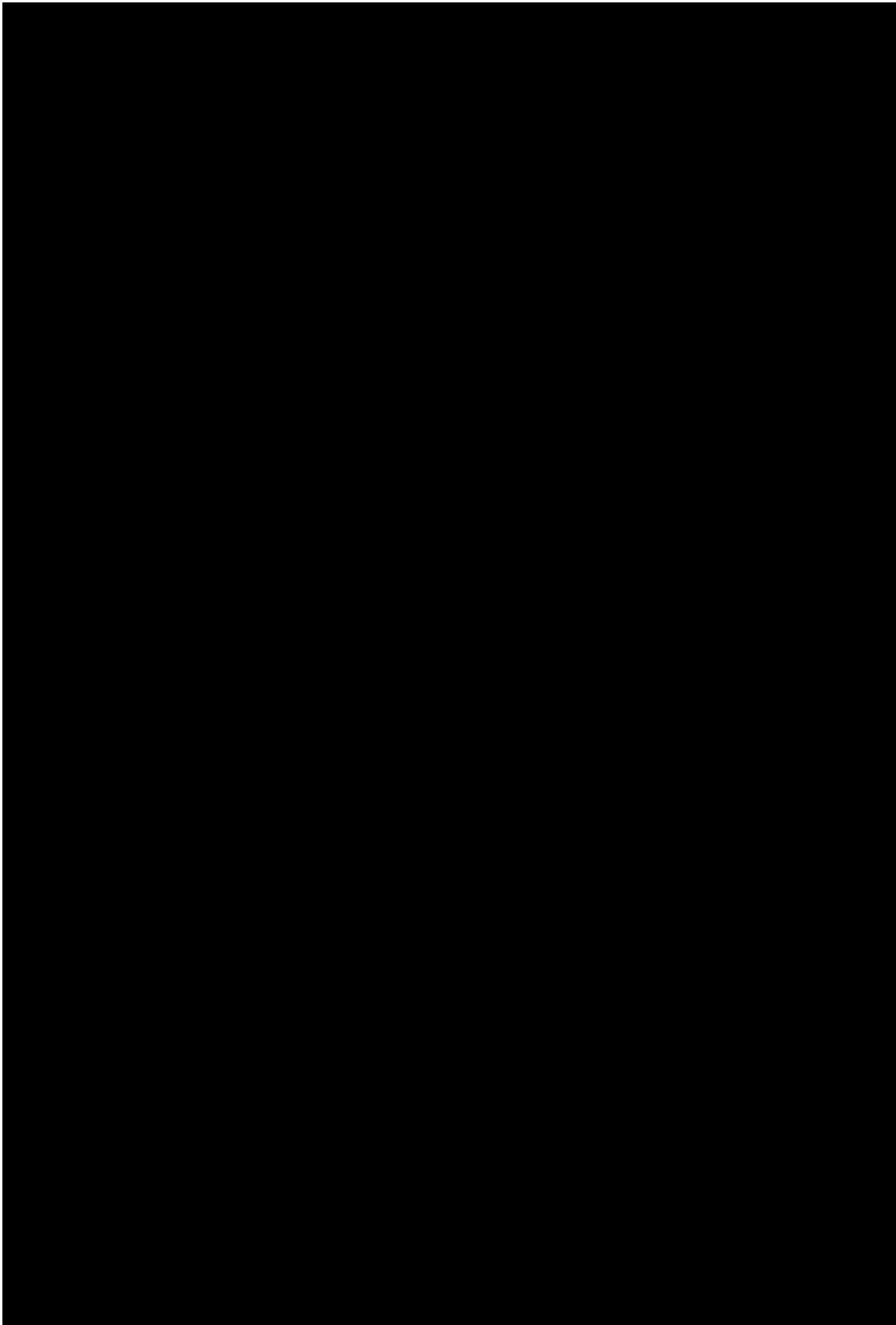


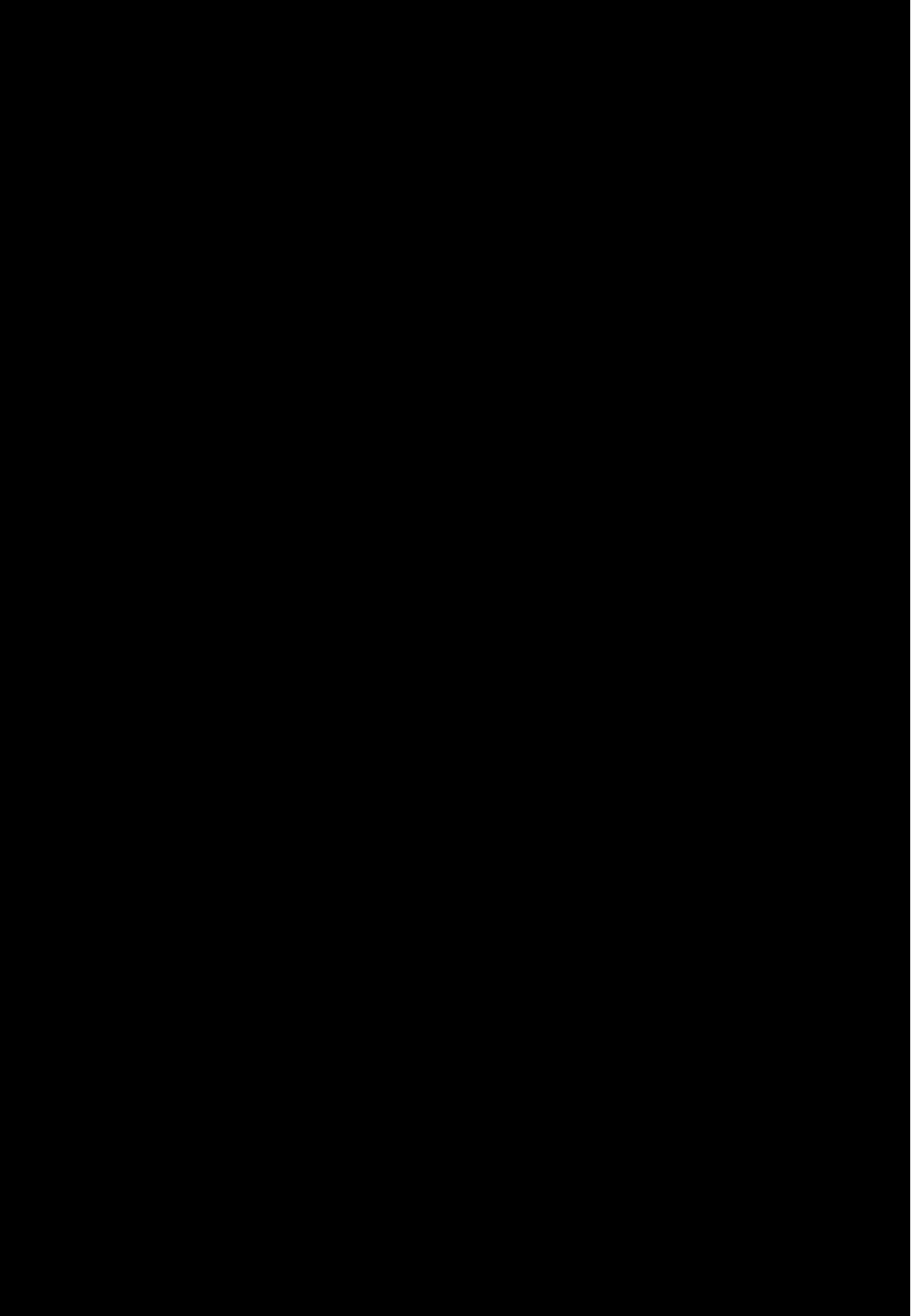


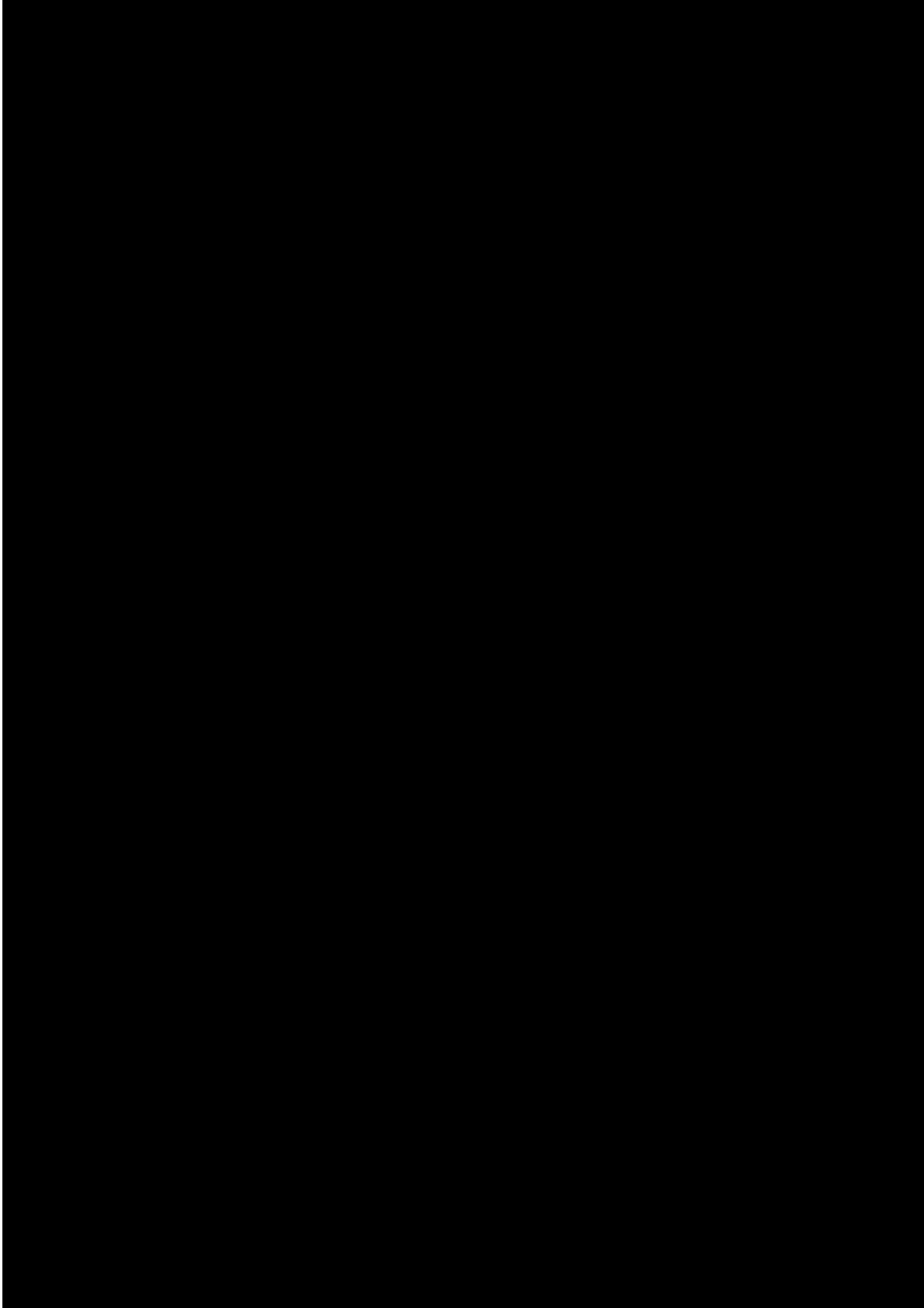






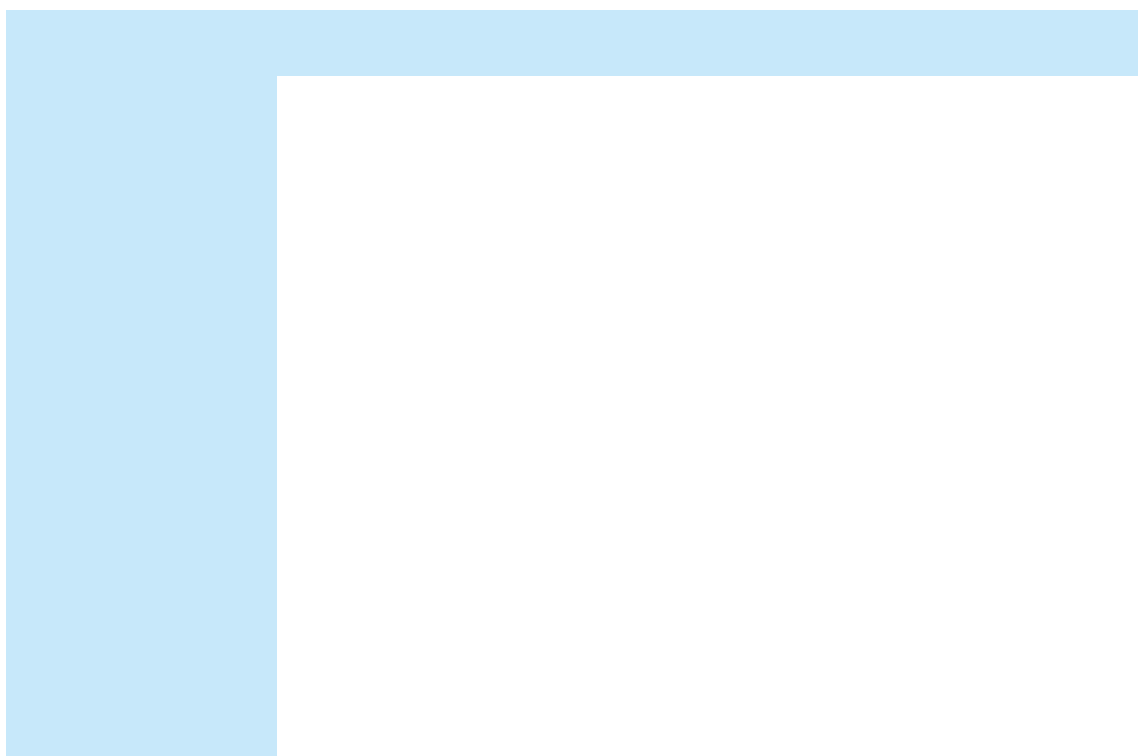
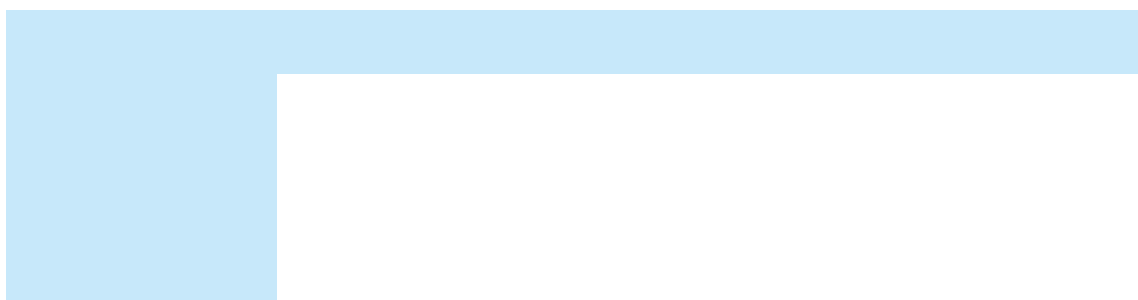
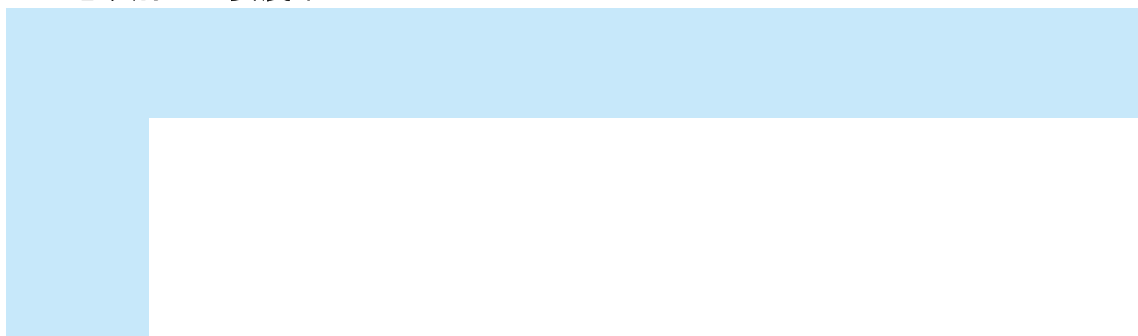


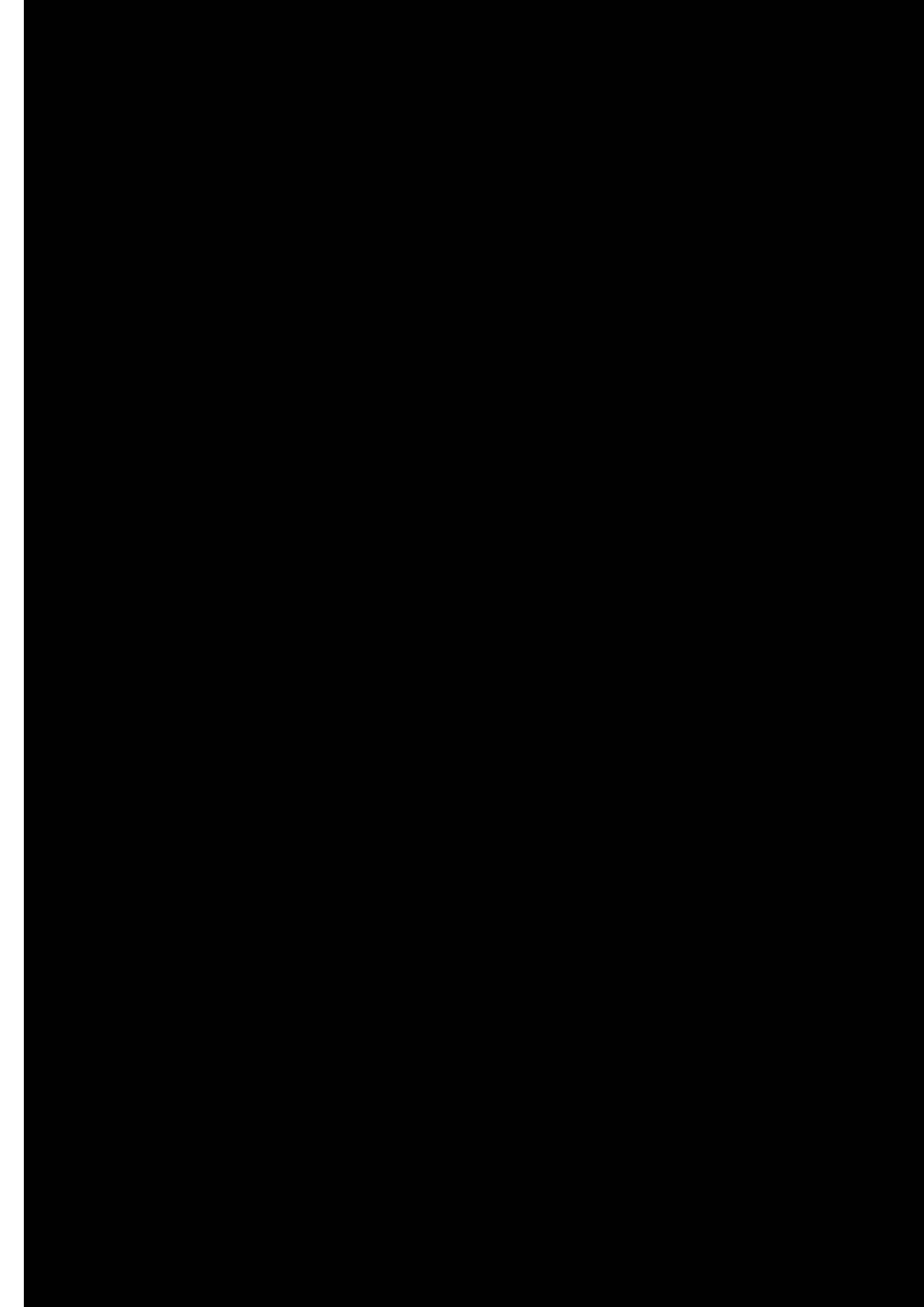




V 地域の動向

地域別の主要農業







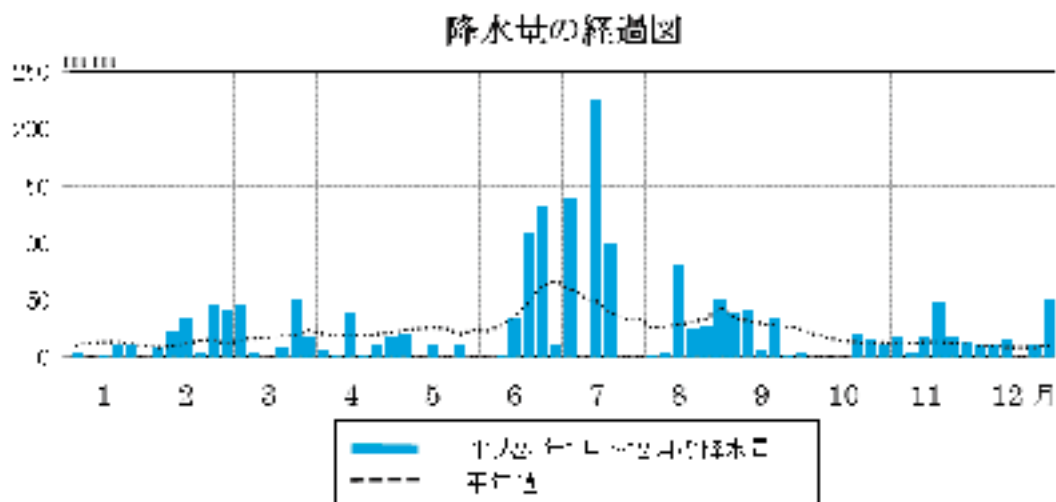
(イ) 諸外国の食料自給率（カロリーベース）の推移（試算）

（単位：%）

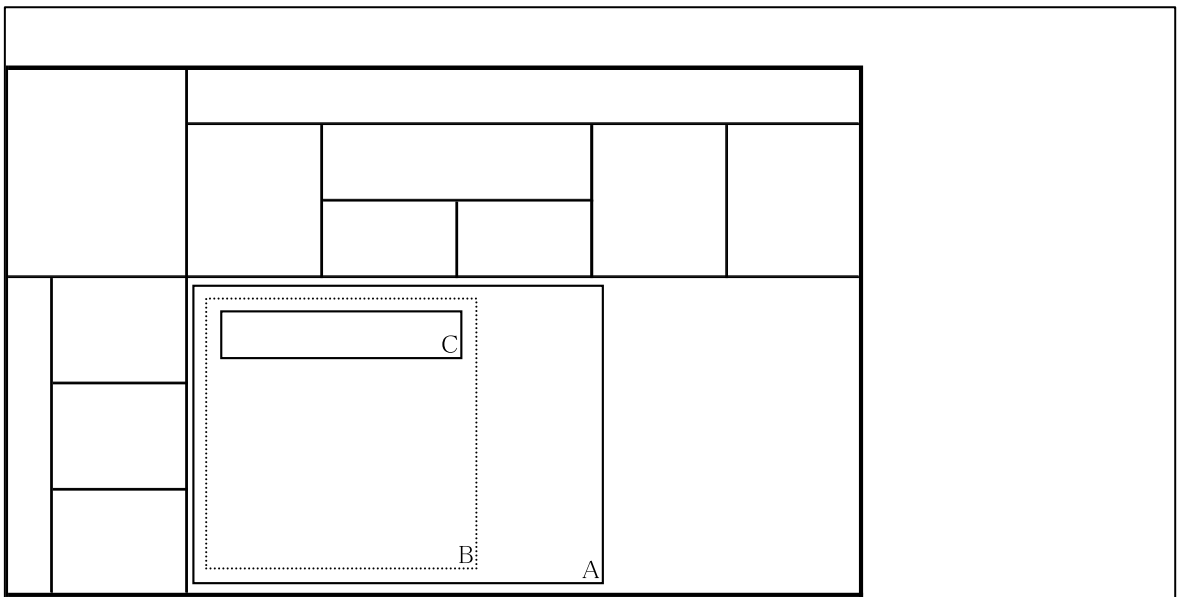
	昭和36 (1961)	40 (1965)	45 (1970)	50 (1975)	55 (1980)	60 (1985)	平成2 (1990)	7 (1995)	12 (2000)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	20 (2008)	21 (2009)	22 (2010)	23 (2011)
オーストラリア	204	199	206	230	212	242	233	261	280	245	172	173	162	187	—	—
カナダ	102	152	109	143	156	176	187	163	161	173	185	168	211	223	—	—
フランス	99	109	104	117	131	135	142	131	132	129	121	111	114	121	—	—
ドイツ	67	66	68	73	76	85	93	88	96	85	77	80	86	93	—	—
イタリア	90	88	79	83	80	77	72	77	73	70	61	63	67	59	—	—
韓国	—	—	80	—	70	—	63	51	51	45	45	44	48	50	49	—
オランダ	67	69	65	72	72	73	78	72	70	62	78	75	77	65	—	—

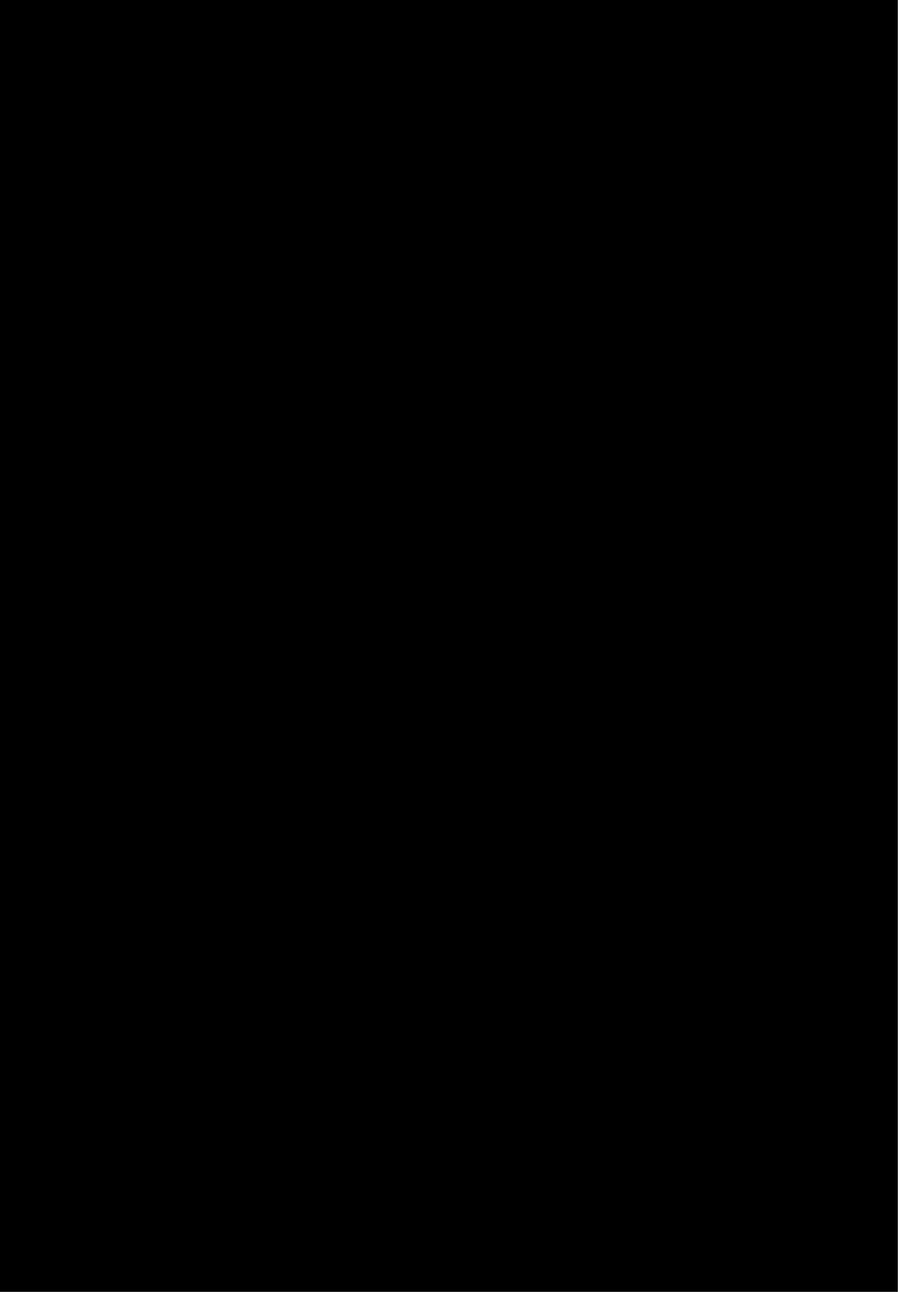


⑥ 気象経過図（平成24年1月～12月）









平成24年度
福岡県食料・農業・農村の動向
＝県農業白書＝

発行日	平成25年7月
編集発行者	福岡県
連絡先	福岡県農林水産部 農林水産政策課企画係
T E L	092-651-1111（代表） 092-643-3468（直通）



福岡県行政資料	
分類記号 P A	所属コード 4700103
登録年度 25	登録番号 0002